

東京女子高等師範學校開校 五十年記念式

取敢へす前號に於て大要を報告したのでありますが、去年十一月二十九日に於ける東京女子高等師範學校開校五十年記念式の狀況を更に報告いたします。開校五十年の式典は大講堂に於て左の次第によつて行はれました。

開校五十年記念式次第

東京女子高等師範學校

大正十四年十一月二十九日午前十時

學校長御先導

臨 御

(總員最敬禮)

唱 歌

「君か代」

(總員起立)

御 令 旨

(總員最敬禮)

學校長式辭

(職員生徒兒童起立)

文部大臣祝辭

(職員生徒兒童起立)

卒業生總代祝辭

(卒業生起立)

生徒兒童幼兒總代祝辭

(生徒兒童起立)

唱 歌

「みかゝすは」

(總員起立)

學校長御先導陳列品室へ奉導

(總員最敬禮)

陳列品御巡覽

入 御

二

前日の大雨は夜半より名残なく晴れて十一月二十九日は小春日和の快晴でありました。午前八時半までに登校した全校二千の生徒兒童幼兒は本校正門前の廣場に溢れて電車通りにまで整列してこの日特に行啓遊ばされる。皇后陛下の御車を今かくと御待ち申上げて居ります。陛下には午前九時三十分御出門 同四十分早や先驅がお茶水橋に見えました。陛下には午前九時四十五分東京女子高等師範學校生徒兒童職員來賓の奉迎裡に立關に着御あらせられ、直に御便殿に入御あらせられました。岡田文部大臣同

夫人茨木校長に拜謁を賜はり、程なく學校長御先導にて記念式場に臨御あらせられました。

式場には來賓舊職員百有餘名、卒業生たる櫻蔭會員作樂會員みどり會員等東京市並に近縣在住者七百名、東京女子高等師範學校生徒、附屬高等女學校小學校生徒更に第六臨時教員養成所生徒と二千の生徒が奉迎より直に式場に繰込み今や靜肅に控えてゐます。また附屬幼稚園幼兒百六十名は最前列に整列してゐます。ピアノの合圖にて總員三千人最敬禮の中に

皇后陛下は式場に臨御あらせられました。

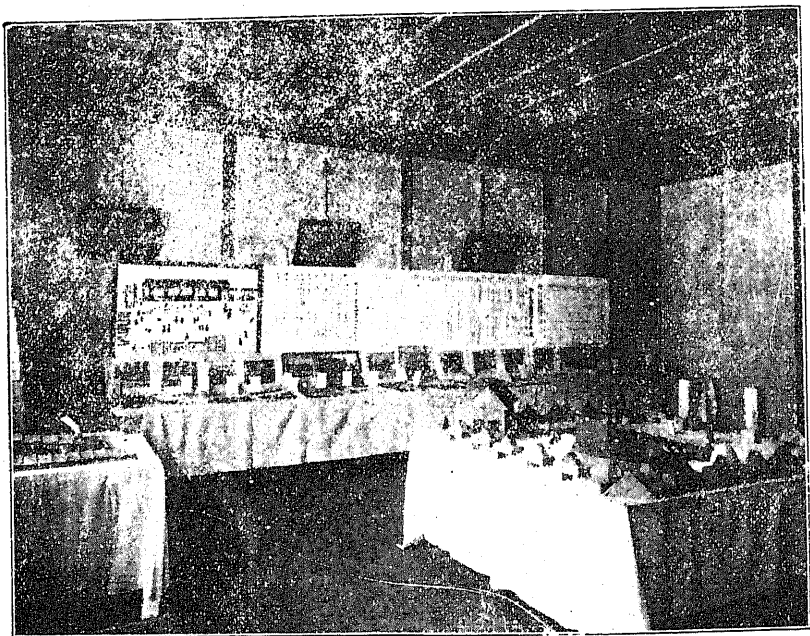
唱歌君か代の後 皇后陛下より御令旨を賜はりました。このとき幼稚園幼兒は靜かに退場したのであります。次いで學校長の式辭文部大臣の祝辭の朗讀があつて次第書の如く式は莊嚴の裡に進行し、みがかずばの唱歌を以て式が目出度く終はりました。そこで學校長御先導にて陳列室へ奉導申上げたのであります。

三

先づ特別陳列室にて開校以來賜はりたる數々の御令旨 昭憲皇太后の御遺物等を御巡覽あらせられ第一陳列室幼稚園に御成りになりました。幼稚園陳列室には幼稚園創立當時の寫眞、フレーベル著人間の教育等當時の幼稚園教育に關する書籍、フレーベル恩物、士太牙氏東京女子師範學校附屬幼稚園著の恩物圖形等より明治十年代の幼稚園監事保姆幼兒の寫眞を陳列し、壁面には附屬幼稚園沿革年表、明治九年制



定保育課程表、明治十一年制定保姆練習科の課程表等を掲げ、更に明治二十年代の保育室遊戯室寫真各年代を追つて主事保姆幼兒の寫真、幼稚園生活を示す寫真成績品等を陳列しモンテッソーリ氏感覺練習玩具を配して陳列してありました。また窓際には大積木にて自働車をつくり室の中央には粘土、切抜を以てつくりました象・鴨・鶴等の動物、池、ヒル氏積木の塀を圍らせる幼兒合作の動物園がありまた一方の壁面には幼兒のぬりゑ、自由畫を掲げキビカラ細工、粘土細工、切抜細工、切紙細工等を陳列してあります。皇后陛下には御在園當時の藤棚、遊戯室保育室の有様を示す古き寫真に御眼をと



めさせられ、御幼少の當時をおしのび遊ばされました。またモンテツソリーの玩具に御注意遊ばされ、幼児のきびから細工粘土細工には御笑遊ばされたる様子に拜せられました。かくて

陳

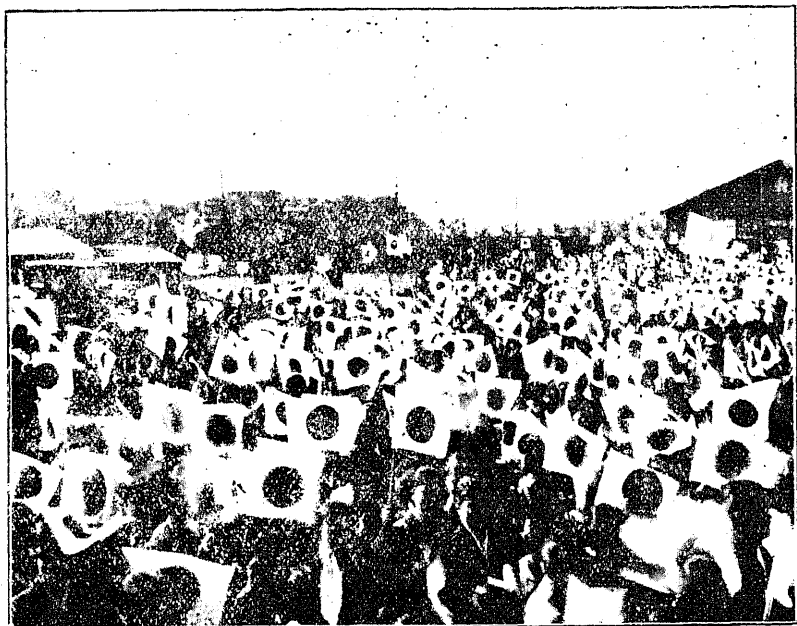
皇后陛下には小學校女學校本校の各陳列品を御巡覽遊ばされ最後に五十年間の歴史を表はす幻灯映畫を御覽遊ばされ廊

列

下にて拜謁を賜はりました。先づ二十五年以上在職せる十三名の職員に拜謁を賜

室

はり次いで開校當時の職員跡見豊田兩女史更に御在園當時の職員後閑、佐方、岡穂積、今立の諸氏に拜謁を賜はりました。そして更に現職員（高等官）にも謁を賜はり御機嫌美はしく御便殿に入御遊ばさ



れ御少憩の後來賓職員生徒兒童幼兒奉送
裡に御還啓遊ばされました。時は正午を
過ぐる十分であります。

四

午後一時より全校職員生徒兒童幼兒は
一齊に校庭に集合した。手には國旗をか
ざし校歌を歌ひつゝ、幼稚園幼兒を先頭
に校庭で旗行列を行ひました。來賓も卒
業者も順次に加はり行列は校舎を取圍ん
で校庭に散開してゐます。こゝにもかし
こにも祝賀の歌や萬歳の歡呼がどよめく
有様、順次列は校庭にうづを巻き校長職
員を取巻き集合し午後二時宮城を遙拜し
つゝ校長の發聲で、天皇陛下萬歲三唱皇
后陛下萬歲三唱皇太子殿下萬歲三唱皇太

子妃殿下萬歲三唱、更に東京女子高等師範學校の萬歲を三唱して旗行列を解散したのであります。

五

二十九日午後は來賓、卒業者の陳列室觀覽があり、午後四時より五十年記念會主催二十五年以上在職者記念品贈呈の式が大講堂に行はれ、引續いて五十年記念大祝賀會が催されました。

また三十日午前九時より五十年記念講演會が大講堂に於て開催せられ、岩川友太郎先生、後閑菊野先生及び柳澤政太郎先生の女子教育の歴史將來の女子教育に關する講演がありました。午後零時半よりは記念音樂會が大講堂で行はれ安藤幸子先生のヴァイオリン、長坂好子先生の獨唱、萩原英一先生のピアノ更に生徒有志のコーラス、海軍軍樂隊の管絃樂の吹奏があつて歡聲裡に五十年記念祭が終つたのであります。

(大正十四年十二月十日 堀 生)

お断り 前號に於て

皇后陛下東京女子高等師範學校五十年記念式に行啓遊ばさるるの
記事を不適當な所に掲載いたしました不注意をおわびいたします